



## 卒業生と語る会

1月16日（金）の午後に卒業生3名【①社会福祉法人はしま佐藤遙さん（社会人4年目）②コダマ樹脂工業 堀真理子さん（社会人2年目）③アイシン 吉川蓮さん（社会人1年目）】をお招きし、「卒業生と語る会」を実施しました。現在それぞれの職場で活躍されている先輩方から、在校生に向けて貴重なお話をいただきました。

当日は、夜勤への対応の工夫や、在学中との生活リズムの違い、余暇の過ごし方など、実際に働いているからこそ語ることのできる具体的な話が沢山ありました。

「人間関係づくりに少し苦労しました」「毎月〇万円貯金しています」「今でもサッカーを頑張っています」という話は、特に印象に残りました。また、「利用者さんのことを考えて、常に行動しています」「状況に応じて聞く量や話す量を調整しています」という介護職ならではの詳しい話は、20代前半でここまで成長するのかと先生たちも驚かされる内容でした。

今回の会を通して、働くことの意義・責任・楽しさや社会の中で成長していく姿を身近に感じる事ができたと思います。このような機会を大切にして、在校生の皆さんは少しずつ将来の自分をイメージしていくとよいと思います。



## 卒業後ガイダンス（支援センターとの関わり）

2月13日（金）は、3年生を対象に「卒業後ガイダンス」を行いました。前半は「就業・生活支援センターとは？」「どのような関わりをしていくのか？」という内容の話を聞きました。

### <要点整理>

本校の卒業生には、就職をすると地域（居住地）の就業・生活支援センターが就業面のサポートをしてくれる仕組みがあります。会社と卒業生の間に入り、双方の悩み相談をしたり、具体的な対応策を考えたりしてくれます。生活面のサポートが入る場合もあります。

後半は、4月から直接関わる支援員の方たちと面談を行い、移行支援会議の日程確認や入社後の会社への訪問日の確認、困った場合の連絡先等の確認を行いました。

学生から社会人へと羽ばたく3年生。今は不安が大きいと思いますが、地域の就業・生活支援センターや学校、そして家族のサポートを受けながら、「卒業生と語る会」に来てくれた先輩たちに近づくことができるよう、努力を重ねていってほしいと願っています。

（面談の様子）

